

住宅用火災警報器の奏功事例

発信元：特別消防隊調査係

発 生 日	令和4年1月11日（火）
覚 知 時 分	令和4年1月11日（火）21時38分
出 火 場 所	みよし市内
出 火 建 物 概 要	<input type="checkbox"/> 専用住宅 <input checked="" type="checkbox"/> 共同住宅 <input type="checkbox"/> 併用住宅
焼 損 程 度	<input type="checkbox"/> 全焼 <input type="checkbox"/> 半焼 <input type="checkbox"/> 部分焼 <input type="checkbox"/> ぼや <input checked="" type="checkbox"/> 非火災
出 火 原 因	鍋の空焚き
概 要	居住者が、居室で調理中に就寝してしまったため、鍋が空焚き状態となり、鍋内から発煙した。居室天井に取り付けられていた住宅用火災警報器が鳴動し、隣室居住者がその警報音と異臭に気付き、119番通報したものの。
火 災 予 防 上 所 見	こんろを使用中は、寝ないこと。眠気を感じたら、こんろを使用するのは控えましょう。



10年経ったら交換しましょう!!



尾三消防組合

豊明市・日進市・みよし市・長久手市・東郷町

約1ヶ月に1回は点検を実施し、作動が確認できない場合は、電池切れ又は本体の故障です。その場合は、早急に取り換えをしましょう!!

